



株式会社 S M O 南小国

株式会社SMO南小国 取組事例紹介

2023.2.14

株式会社SMO南小国 安部千尋

南小国町とは



コンセプト	上質な里山
人口	3,848人（2022年12月現在）
面積	115.86平方km
世帯数	1,791世帯（2022年12月現在）
高齢化率	40%
主な産業	観光業、農業、林業
主な特産品	原木しいたけ、まいたけ、大根 ほうれん草、小国杉、温泉
年間観光客数	約100万人 黒川温泉を筆頭に4つの温泉地域
特記事項	「日本で最も美しい村」連合発足自治体、阿蘇地域世界農業遺産登録、ローカルベンチャー協議会

SMO南小国とは



株式会社 S M O 南小国

地域商社の仕組みを持つ、 観光地域づくり法人（DMO）

※30年以上の歴史ある物産館と観光協会が合併し、2018年に設立。
町が99%の資本を持つ株式会社。

SMO南小国の事業概要

① 地域商社事業部【物産館／レストラン／ふるさと納税／マーケティング】

5つの基本方針における『南小国の地域資源を磨くためのアイデアの創出・実行』を担い、地域経済循環における南小国町内への民間消費流入の最大化を目的とする。

② 観光事業部【公益事業（観光協会）／収益事業】

5つの基本方針における『町内における観光業と農林畜産業をはじめとする地場産業の融合』を担い、全産業を横串しての観光産業化を推進する。

③ 情報発信事業部【コンテンツ制作】

5つの基本方針における『里山のくらしをはじめとする南小国の魅力の発信』を担い、交流人口・関係人口の町内への流入契機の創出の最大化を目的とする。

④ 未来づくり事業部【R&D】

5つの基本方針における『地域や業種を超えて、様々な人材の結びつけ』ること及び『まちづくりのノウハウを地域に蓄積・浸透』を担う。

町に新しい人と産業の流れを創出し、町の有する中長期的な課題解決に資する人材の育成・獲得及び「"挑戦"を生みだす町」を実現するための環境醸成を目的とする。

+経営管理部門

■補助事業名称:地域商社を中心とした採用・定着支援による「地域の人事部」機能の基盤整備

補助事業者名:株式会社SMO南小国

補助金申請額:1,205,600円

事業概要 将来的に「採用」・「育成」・「配置（再配置含む）」・「評価」を一貫して担う「地域の人事部」機能のビジネスモデル確立及び他地域展開を目指す。 その第一歩として、本実証事業では、以下の2点に取り組む。 1. 複数業種を束ねて面的に明示することによる地域企業の「採用」支援 2. 蓄積されたノウハウを他地域展開するためのプラットフォームのモデル形成	【取組地域】 ・熊本県阿蘇郡南小国町 【事業区分】 ・求人・採用 ・人材育成 ・キャリア支援・定着	連携先 ・熊本県阿蘇郡南小国町 ・DHE株式会社
---	--	---------------------------------------

地域企業が抱える人材課題

- ・小規模な企業（家族経営等）が多く、企業単独での人事機能（採用・育成・配置・評価）にかけられる経営リソースが限定的である。
- ・企業の人数規模が小さいため、同一企業内でのキャリアアップや配置換えがむずかしく、ミスマッチがあったときに、離職せざるを得ない状況が起こりやすい。
- ・新規採用を毎年行っていないため、採用や育成など人材関係のノウハウが蓄積しない。また、求人にあたっての要件定義が十分に行えず、本来募集したい人材の案件化ができない。

本事業を通じて実施する取組

①取組内容

1. 複数の地域企業への採用支援として、既存事業では条件に合わないが魅力的な求人案件を束ね、Instagramなど若者人材になじみのあるSNSを使用しながら発信を行う。また、支援した案件で採用に至った場合、採用後と就職1か月後に弊社が採用者と面談を行い、働き始めてから生じるギャップを低減するとともに、ミスマッチが発生した場合にも他の求人情報を得られる関係性をあらかじめつくることで、**一歩踏み込んだ採用・定着支援**とする。
2. 将来的な展開を見据え、**地域で商社機能などを担う中間支援組織**が地域の人事部を運営するノウハウを蓄積し、**他地域展開できるプラットフォームのモデルづくり**を行う。

②見込まれる成果・効果

- ・既存事業ではカバーできなかった複数地域企業の求人案件の発掘・発信
- ・採用後サポートによる人材の流出防止

③ビジネスとしての自立性・持続性の確保に向けた方針・工夫

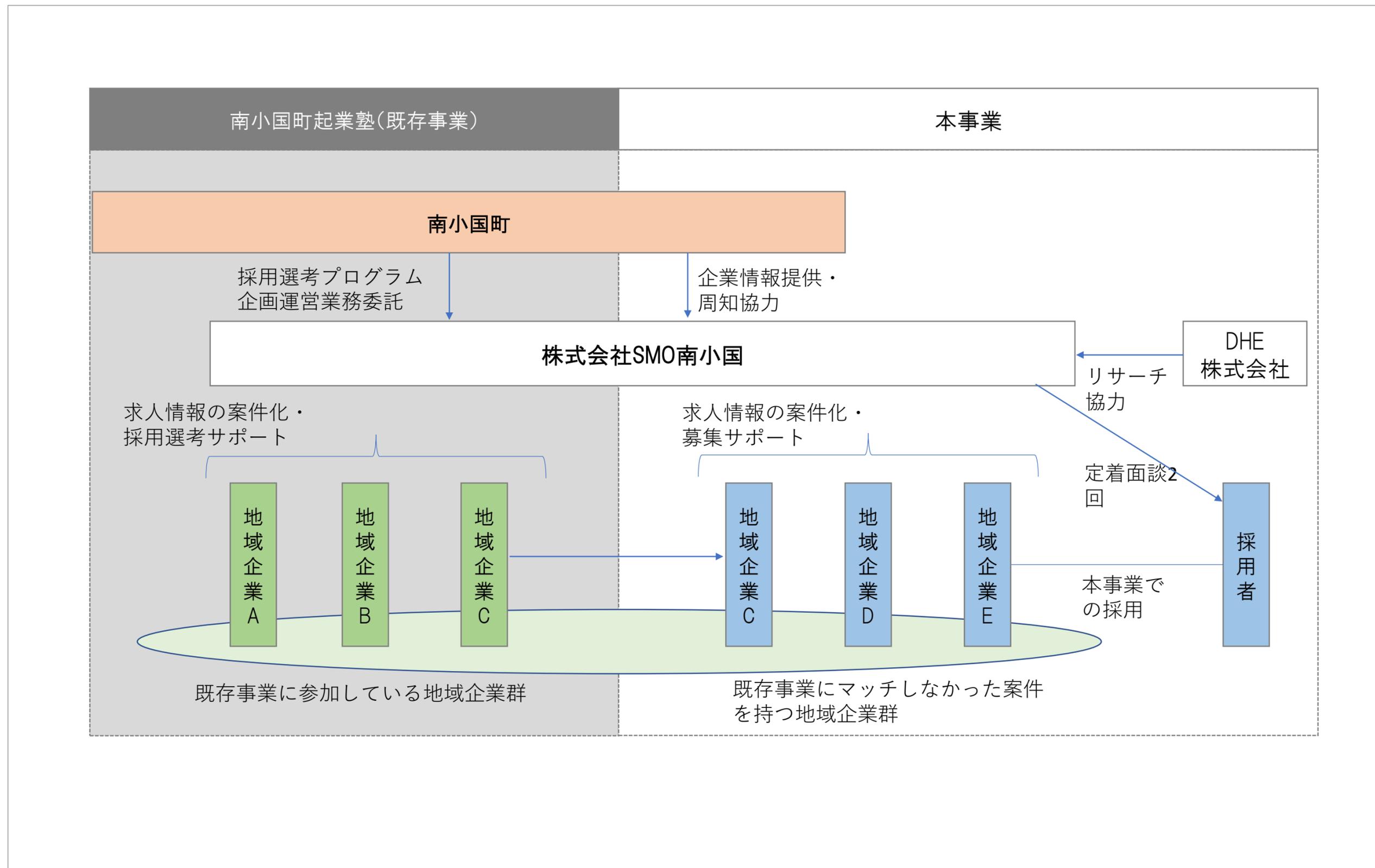
- ・従来の民間の人材支援事業においてはマーケット規模から一貫しての提供が困難である採用・育成・評価・配置の一連の流れをワンストップで提供することで、各フェーズにおける**成果報酬型のビジネスモデルを確立**することにより、**継続的な取り組み**として行ける見込み

本事業の成果目標

- ・採用案件掲載数：町内配布チラシ、エンゲージ（無料求人サイト）に掲載する求人案件数
- ・Instagram広告クリック数：Instagram広告へのアクション量測定のため、広告クリック数
- ・応募数：1案件につき、平均応募数3件を想定

■補助事業名称:地域商社を中心とした採用・定着支援による「地域の人事部」機能の基盤整備

【実施体制の全体像】



地域商社を中心とした採用・定着支援による「地域の人事部」機能の基盤整備

将来的に「採用」・「育成」・「配置（再配置含む）」・「評価」を一貫して担う「地域の人事部」機能のビジネスモデル確立及び他地域展開を目指す。
その第一歩として、本実証事業では、以下の2点に取り組む。

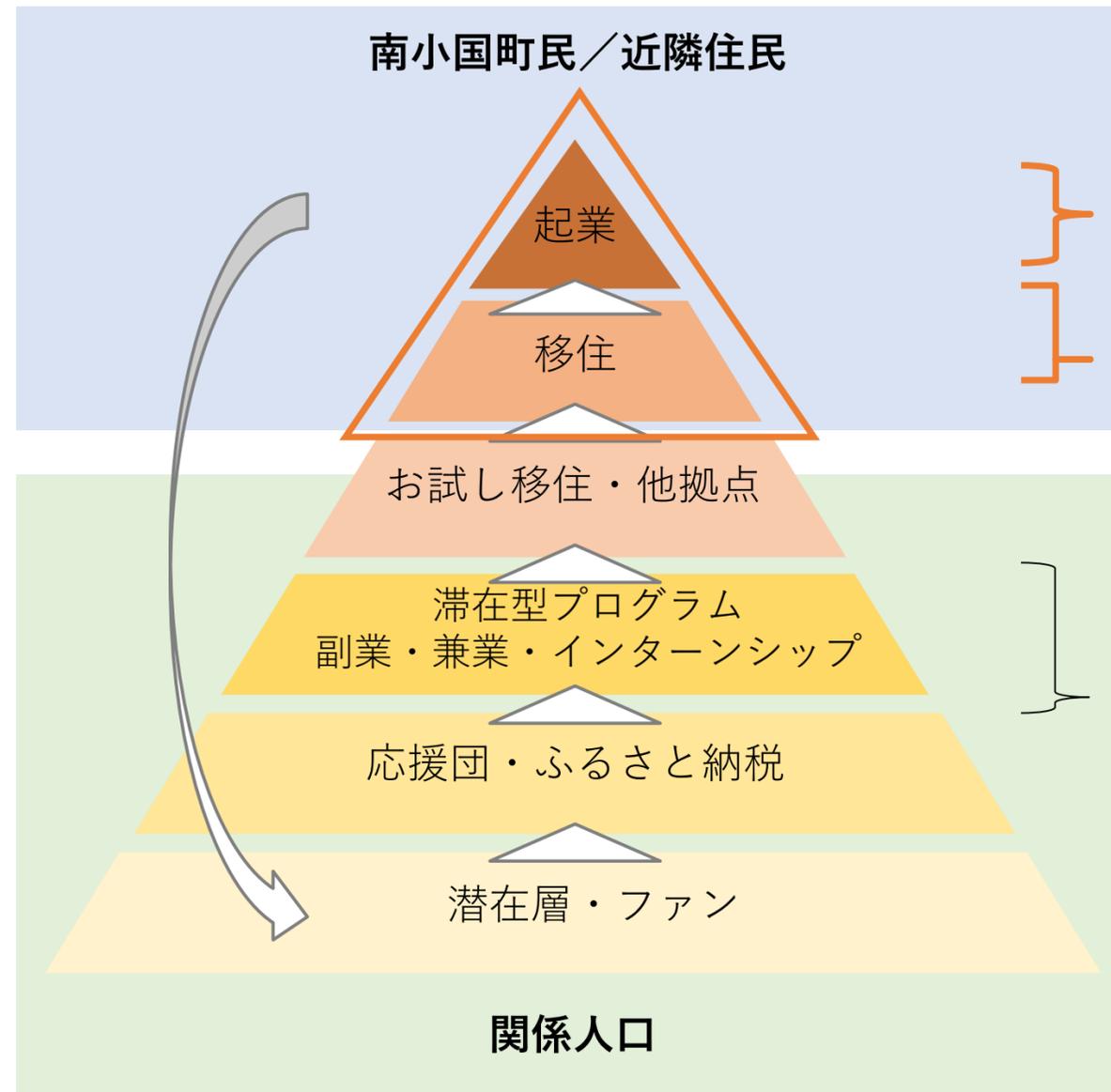
1. 複数業種を束ねて面的に明示することによる
地域企業の「採用」支援
2. 蓄積されたノウハウを他地域展開するための
プラットフォームのモデル形成

地域商社を中心とした採用・定着支援による「地域の人事部」機能の基盤整備

将来的に「採用」・「育成」・「配置（再配置含む）」・「評価」を一貫して担う「地域の人事部」機能のビジネスモデル確立及び他地域展開を目指す。
その第一歩として、本実証事業では、以下の2点に取り組む。

1. 複数業種を束ねて面的に明示することによる
地域企業の「採用」支援
2. 蓄積されたノウハウを他地域展開するための
プラットフォームのモデル形成

未来づくり事業部の施策（既存の取組み）



⑥南小国町しごとコンビニ

①新規事業創出・広域連携

②実践型マッチング
プログラム

③起業型／新規事業型
地域おこし協力隊

④ワーキングバケーション

⑤ふるさと兼業



Change the Field

あなたの挑戦を、人生を。

キックスタートキャンプ
in 阿蘇・南小国町

南小国町で挑戦したい人がここでしか できない事業プランをつくる機会

地域パートナーが募集するプロジェクトに対して

- ① あなたが本気でやってみたいことかを対話
- ② 地域との相性や求められていることとの
すり合わせ
- ③ 経験豊富なメンターによるブラッシュアップ
を行います。

- ✓ 応援してもらえる関係性ができる
- ✓ プロジェクトが具体的に見えて自分ごとになる
- ✓ 多様な視点でプロジェクトの可能性を広げられる



2022年度 募集プロジェクト&テーマ

農業

-  新規就農コーディネーター
-  ひつじ飼い×阿蘇の草原維持

商業

-  菊芋×特産品開発開発
-  阿蘇ブランドのバイヤー

林業

-  ものづくり×森林の魅力発信
-  自伐型林業家見習い

まちづくり

-  未来づくりコーディネーター
-  まちの子育てしくみづくり

町の課題 × 新規事業立ち上げ



長谷部 湧也 さん × (株) Foreque

100年先まで残る建築 × カフェ



園田 亮 さん × 黒川温泉旅館組合

持続可能な観光に向けた事業開発



1. 複数業種を束ねて面的に明示することによる 地域企業の「採用」支援 ※既存事業では条件に合わなかったものを優先

阿蘇・南小国町で
仕事をお探しの方

人の役に立ちたい
介護見習い、募集

福祉業界・未経験歓迎

泊まり無し 日曜休み 週2・3日～

社会福祉法人 南小国町社会福祉協議会

阿蘇・南小国町で
仕事をお探しの方

米粉バウムクーヘン
製造スタッフ、募集

好調につき増員・未経験歓迎

正社員 アルバイト 住宅相談有

阿蘇で公共事業を手掛けて37年 大仁産業株式会社

阿蘇・南小国町で
仕事をお探しの方

まちづくり仕事
運営担当、募集

学歴・業界経験不問

正社員 服・髪自由 フレックス制

上質な里山の継承を目指して まちづくり公社 SMO南小国

		目標数	達成率	12月実績	1月実績
KPI	採用案件掲載件数	5	120%	5	6
	Instagram広告クリック数	500	843%	254	3963
	応募数	15	293%	0	44

⇒求人媒体とSNS広告運用で一定の成果や知見は得られたものの、本来行いたかった定着支援まではできず

地域商社を中心とした採用・定着支援による「地域の人事部」機能の基盤整備

将来的に「採用」・「育成」・「配置（再配置含む）」・「評価」を一貫して担う「地域の人事部」機能のビジネスモデル確立及び他地域展開を目指す。
その第一歩として、本実証事業では、以下の2点に取り組む。

1. 複数業種を束ねて面的に明示することによる
地域企業の「採用」支援
2. 蓄積されたノウハウを他地域展開するための
プラットフォームのモデル形成

地域経営
DXの実現

「地域の人事部」を受けての持続的なネットワーク構想

中央集権型から分散型地域経営へ

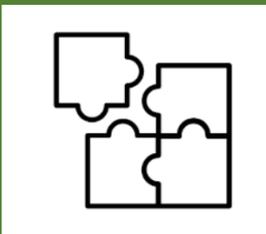
地域間ナレッジ&リソースシェア型地域経営戦略

2023.02.00



株式会社 S M O 南小国

はじめに：地域を取り巻く課題と既存のインプット型ネットワークの限界

<p>人</p> <h2>手不足</h2> <p>少子高齢による地方地域での担い手（生産労働人口）不足により、地域の中核を担う団体の構想はあってもその実現が物理的に行えない。一方で、地域で人材を抱え込むには地域の受け入れキャパシティを越えてしまう。</p>  <p>1</p> <p>#労働人口,#事業承継</p>	<p>ミ</p> <h2>スマッチ</h2> <p>外部の専門家・有識者による経営方針の助言機能だけでは、共通の価値観や文化観がないなかで有効に機能しづらく、具体的な打ち手につながりづらい。</p>  <p>2</p> <p>#マッチング</p>	<p>中</p> <h2>(※)域の仲間</h2> <p>既存の中間支援組織のネットワークでは、移動のコストがかかりすぎるなどが理由でオンライン上での情報共有にとどまり、実務のサポート連携がむずかしい。</p>  <p>3</p> <p>#情報共有,#仲間探し</p>
---	--	---

※中域：自動車等で2時間程度の距離にある地域

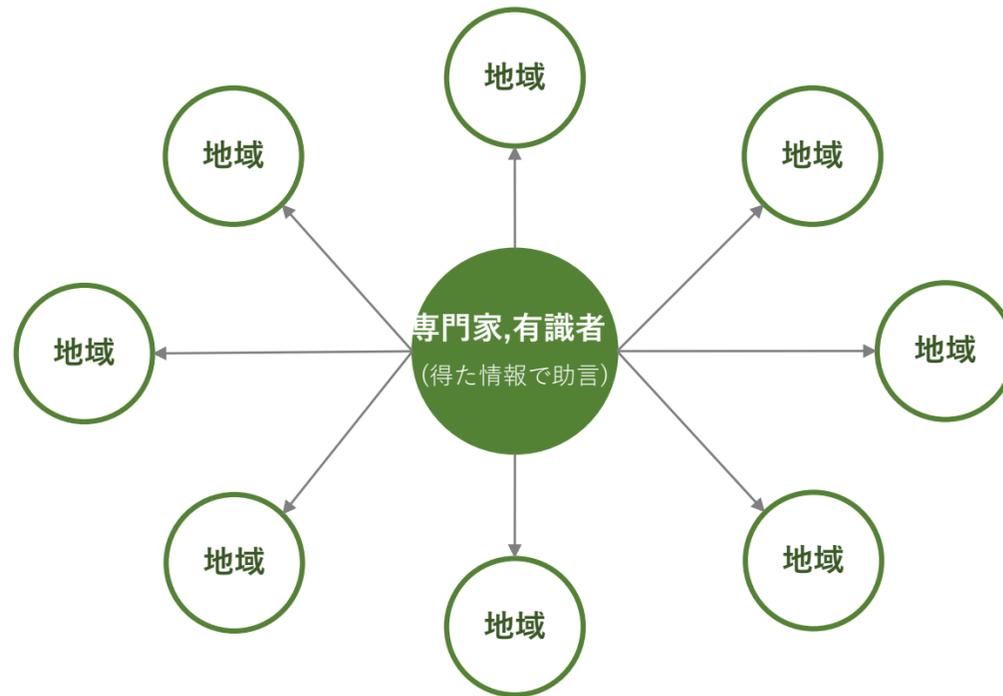
地域内経済循環を促したい一方、日本全国どこの地方・地域にでもある課題。

Concept (わたしたちの考え)

これまで
(非効率)

中央集権型ナレッジシェア

(必要な情報(知恵)の出し入れが閉鎖的でフレキシブルさに限界)



地域経営
DXの実現

中域分散型ナレッジ&リソースシェア

(経験から得た知恵) (工数, 技術) (共有, 融通)



! 体験から得た「知恵」を各「現場」で活用しあう

課題感	知恵・経験は現場のみにある
	改善したい課題は現場(地域)に取り残されている
	知りたい情報(コト)は中央から助言を得る
	足りないリソース(工数, 技術)確保に困っている

プラットフォーム	知恵・経験はプラットフォームに蓄積・共有する
	情報だけでなく実働でリソース共有、課題解決へ
	各地域が先行投資したノウハウの他地域展開
	出口(売り場)とリソース(工数)は仲間で融通する

地域にとって有益な「実感知」を「共有知」へ。中域での実務連携を実現。

事業テーマと必要となるツール類 (案)

各地で取組む

事業テーマ

(地域内経済循環を促す地域の各取組み)

デジタル
ツール

観光
振興

商品
開発

直売所
運営

ふるさと
納税

地域おこし
協力隊
(採用, マネジメント)

地域
ブランディング
(マーケティング)

人材育成
マッチング
(マネジメント)

地域課題
解決型事業

地域の人事部
休眠労働力発掘
マッチング

事業承継
移住者マッチング

などなど

必要となる

ツール類



ウェブサイト
(メディア運営)

slack + 必要に応じたソフトウェア開発

・ 情報共有ツール

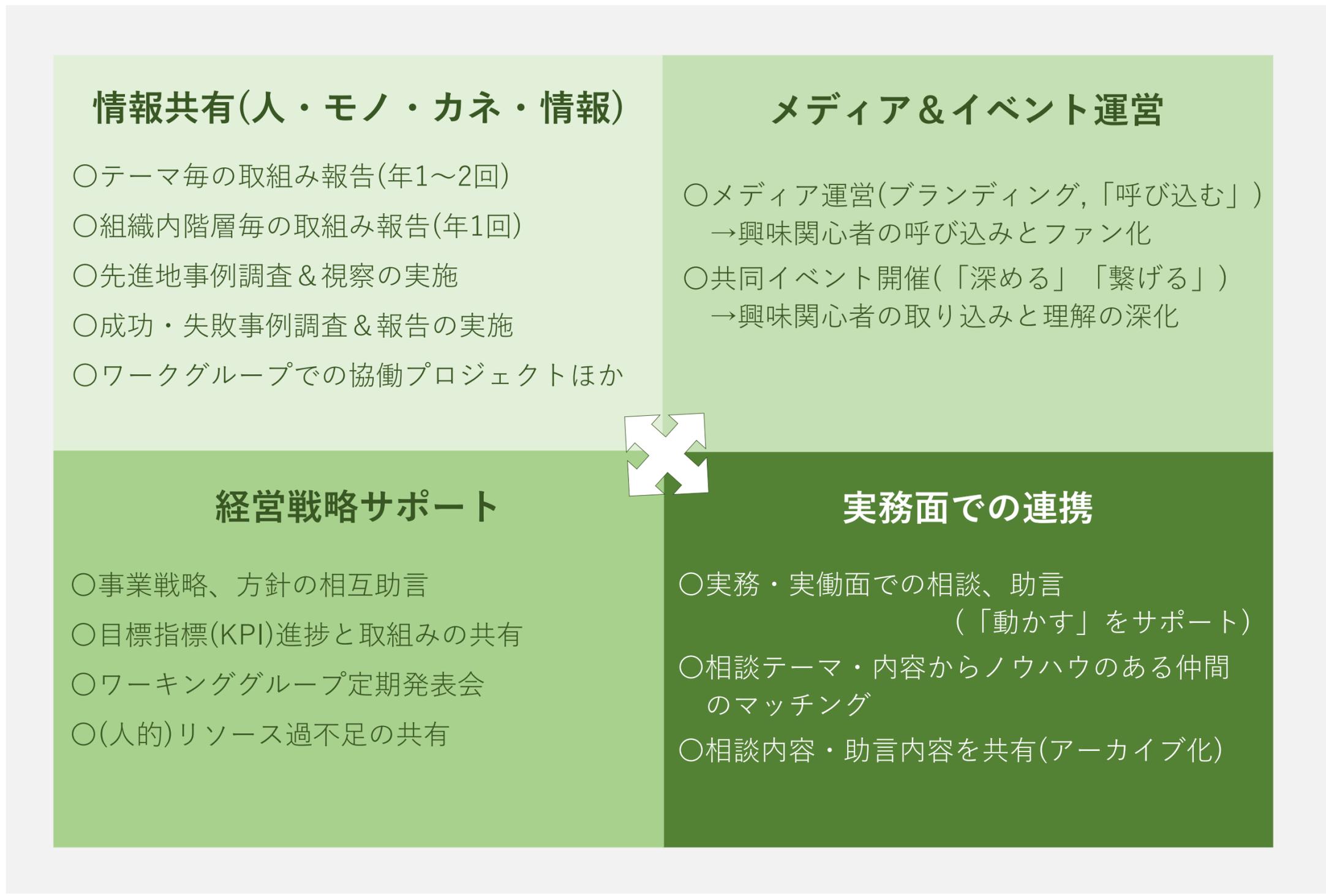
f Instagram Twitter LINE YouTube G

・ 情報発信・集客ツール

BLOG Shopping Cart Airport Checkmark

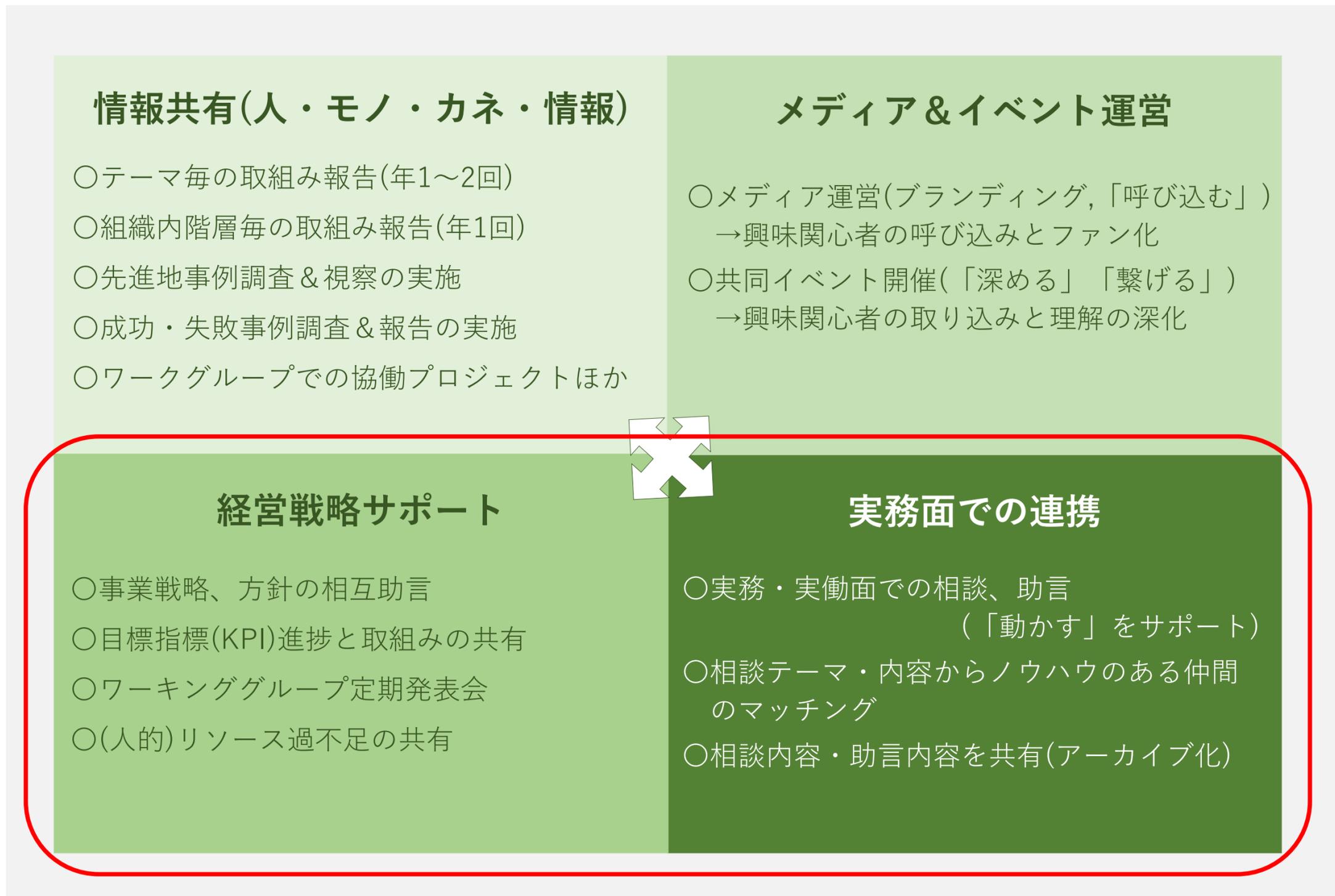
・ 各種ソフトウェア

「中域分散型ナレッジ&リソースシェア」の取組みイメージ



各地域との情報共有・メディア運営に加え、実務面での相談・マッチングでの連携。

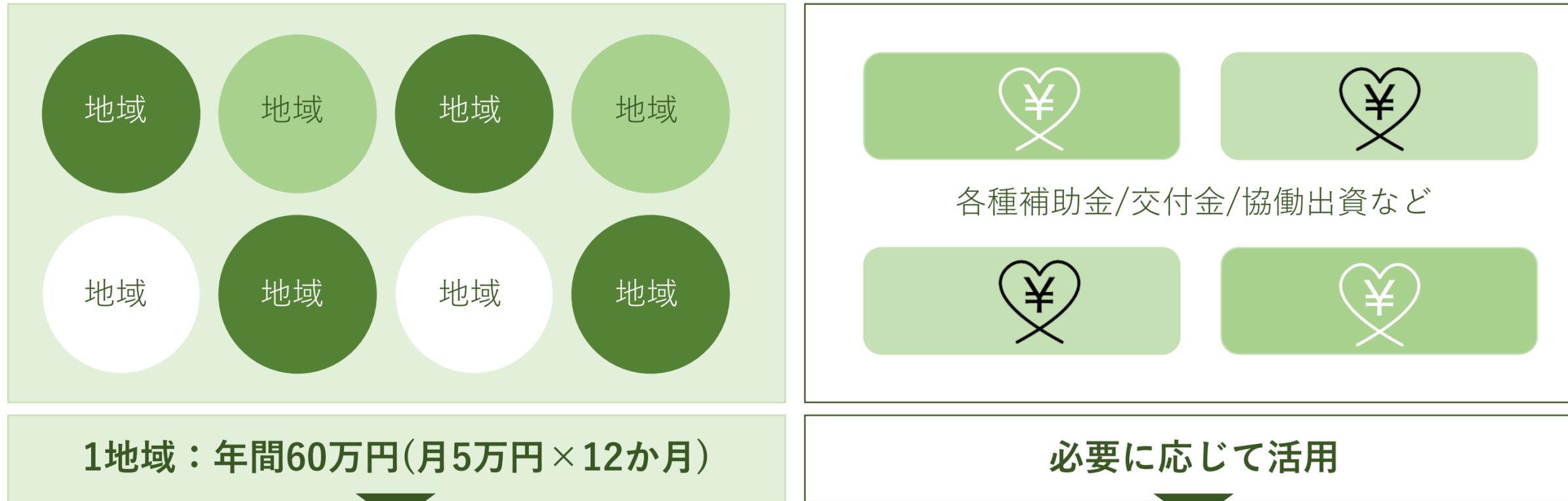
「中域分散型ナレッジ&リソースシェア」の取組みイメージ



各地域との情報共有・メディア運営に加え、実務面での相談・マッチングでの連携。

財源確保（ビジネスモデル）と提供メニュー（案）

「中域分散型ナレッジ&リソースシェアグループ」参加地域と団体



1地域：年間60万円(月5万円×12か月)

各種補助金/交付金/協働出資など

必要に応じて活用

「地域分散型ナレッジ&リソースシェアグループ」運営財源へ

プラットフォーム
運営

情報共有ツール類運り支援

定期発表会・各種ワーク
運営

情報共有イベント運営支援

先進地(成功事例)
研究・共有

情報収集・取材・執筆支援

実務面での連携

地域間課題解決マッチング支援

リソースシェア
(工数・技術)

人材(ノウハウ)等のシェア支援

協働集客・イベント開催
(メディア運営)

広報,広告,囲い込みの一元運営

スキルアップ
人材協働研修

課題解決型の協働研修運営

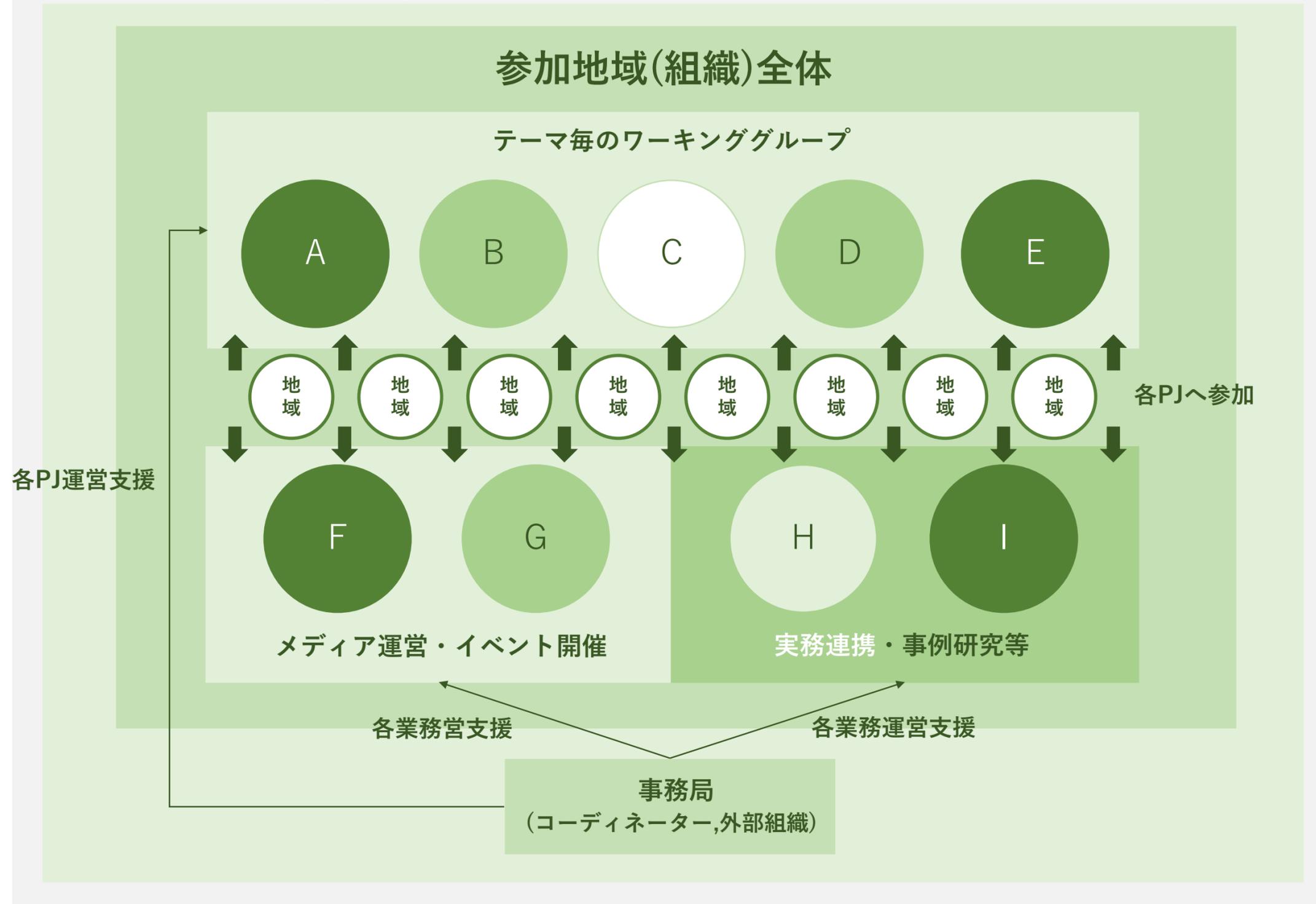
事務局運営

全体コーディネート

自走の為の財源確保には、「会費収入」と「補助金等」の組み合わせを想定しています。

「中域分散型ナレッジ&リソースシェアグループ」運用を支える体制（案）

※中域：自動車等で2時間程度の距離にある地域



会員(地域,組織)は各テーマのワーキンググループに参加。スポットでイベントに参加を想定。

「中域分散型ナレッジ&リソースシェアグループ」の事業構想と歩み

	2022(R4)度	2023(R5)度	2024(R6)度	2025(R7)度	2026(R8)度
事業構想	事業構想	クローズドでの試験運用	クローズドでの試験運用	グループの限定オープン	グループの完全オープン
プロトタイプ運営	プロトタイプ運営	サービスメニュー開発・一部運用	サービスメニュー確立	サービスプロバイダーの開拓	サービスプロバイダーの加入
		展開先の検討・アプローチ	新規自治体加入	会員自治体からの他自治体展開	その他

会員(地域,組織)の広がり と 提供(交換)サービスの充実・深化を目指す。



「上質な里山」のいとなみを、
次世代へとつなぐために

それぞれの地域らしい地域経営の実現